

日本最初のポスト 書状集め箱



東京府に設置の書状集め箱雛形 明治3(1870)年
正院本省郵便決議簿

日本で郵便制度が始まった明治4(1871)年4月20日、日本で最初の郵便ポストも誕生しました。

脚付の台に四角い箱をのせた木製のポストは、書状(手紙)を集める箱であることから「書状集め箱(しょじょうあつめばこ)」と呼ばれました。写真は東京市内用です。当時の図面から復元した模造です。



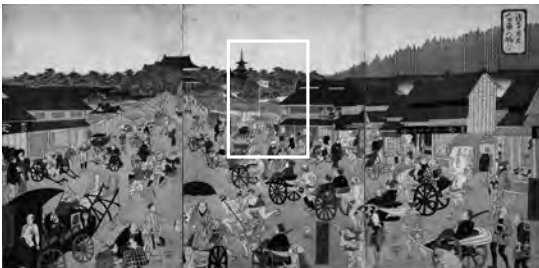
現存する当時の書状集め箱
左 都市用(京都・大阪市内)
右 街道筋用

書状集め箱は三都市用と街道筋用で少し、形が違ってきます(写真)。書状集め箱には、郵便の開業を知らせる「太政官布告」、郵便の利用方法を知らせる「書状を出す人の心得」、そして宛て地別の郵便料金と届くまでの時間を知らせる「各地時間銭表」が付けられていました。

全国の実置場所は東京12ヶ所、京都5ヶ所、大阪8ヶ所、そして3都市を結ぶ東海道の宿場62ヶ所の計87ヶ所です。東京での設置場所は、東京郵便役所、虎ノ御門外、両国橋、筋違御門外、浅草観音前、牛込御門外、赤坂御門外、京橋、芝明神前、赤羽根橋、四ツ谷御門外、永代橋です。

このうち、「京橋」「浅草観音前」は、錦絵の中で見ることが出来ます。

浅草観音前に設置された書状集め箱



錦絵「浅草並木・人力車の賑ひ」一景



右は拡大図
郵便と書かれた旗の下に書状集め箱

書状集め箱から取り集められた郵便物は、宛て先ごとに分けられ、袋に入れられました。そしてそれを行李に納めて運送員が肩に担いで輸送することになっていました。

東京では午後4時、大阪では午後2時の1日1回、悪天候の日も必ず出発し、リレー式で運びました。東京～大阪間の所要時間は78時間でした。